

申請する実務を行った会社が廃業・倒産している場合

- 以下の記入例を参考に必要事項をご記入ください。
- 実務経歴書と併せて、**廃業したことがわかる書類**（解散登記、所得税法第229条による廃業届等）及び**当該会社に属していたことを証する書類**（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）を提出してください。
- 実務経歴証明書の下余白に会社が廃業・倒産したことを記してください。  
また、廃業したことがわかる書類（解散登記、所得税法第229条による廃業届等）及び当該会社に属していたことを証する書類として提出する書類名を記入してください。（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）

【実務経歴証明書 記入例】

(様式 第2-2号)

実務経歴証明書

長野県指定登録機関  
公益社団法人 長野県建築士会 会長 様

令和 〇 年 〇 月 〇 日

法人名  
(建築士事務所名) 〇〇建築設計事務所

事務所登録番号 第 号

役職名

証明者氏名

建築士登録番号 第 号

住所・所在地 長野県長野市大字南長野字宮東426-1

担当者

電話番号 026-235-0561

免許申請者との関係

下記の者が申請した 二級建築士 木造建築士 免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

記

1 免許申請者氏名 長野 太郎

2 建築実務経験  
建築実務経験期間の合計 : 2 年 1 ヶ月  
建築実務の内容 :

- 病院（鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積〇〇㎡）の設計と条件の整理を担当した。
- 事務所（鉄骨造5階建て、延べ面積〇〇㎡）の設計と条件の整理を担当した。
- 小学校（鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積〇〇㎡）の基本・実施設計業務の補助を担当した。
- 専用住宅（木造2階建て、延べ面積150㎡）の工事監理の補助を担当した。

(注) 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成してください。  
2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明してください。  
3 建築士事務所の開設者・管理建築士等が証明する場合、建築士事務所登録番号を記載してください。  
4 建築士が証明する場合、建築士登録番号を記載してください。  
5 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となります。

上記の実務を行った〇〇建築設計事務所は、令和〇年〇月に倒産しました。  
当該会社に属していたことを証する書類として、閉鎖事項証明書および社会保険加入記録を提出します。

申請日を記入。

実務を行った会社の名称、所在地、電話番号※を記入。  
※所在地・電話番号が不明の場合は、未記入でも構いません。

「証明者」は記入不要。

「免許申請者との関係」は記入不要。

【記入例】

上記の実務を行った〇〇建築設計事務所は、〇年〇月に（倒産／廃業）しました。  
当該会社に属していたことを証する書類として、●●および●●を提出します。